

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成25年度	回 数	第15回
日 時	平成25年12月27日 午後1時30分～3時30分		
場 所	庁議室(本庁舎 3階)		
出 席 者	<p>渡部市長 荒井副市長 森教育長 榎本議会事務局長 諸田経営政策部長 當間総務部長 原市民部長 山口健康福祉部長 小林子ども家庭部長 西川資源循環部長 野崎都市環境部長 曾我教育部長</p> <p style="text-align: center;">欠席者:なし</p>		
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項 (1) 事務の品質向上に伴う取り組みと成果について</p> <p>3. 報告事項 (1) 簡素な給付措置について (2) 東京都知事選挙に伴う市職員の選挙事務協力方について (3) 東村山駅周辺まちづくりについて (4) 市議会3月定例会提出予定案件・所信表明事項について (5) 平成25年末にあたって (6) その他</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

1年が経つのは本当に早いもので、曜日の関係で若干早めだが、仕事納めを迎えることができた。1年間、市政推進に当たってそれぞれの立場で誠心誠意、市民福祉の向上・発展に尽力いただき、改めて感謝と敬意を申し上げます。様々なことがあったが無事に平成25年、2013年を終えて新しい年を迎えられそうだ。

むしろ今年、当市には明るい話題が多かったと感じている。3月には東村山駅に特急が停まるようになった。今年最大のイベントだった「スポーツ祭東京2013(国体)」も教育部、その他各部、体協や一般の市民ボランティアにも多大な協力をいただき無事に、そしてスポーツ都市宣言をしている東村山市らしい盛大な大会を実施することができた。国体を通じて東村山市職員と市民の底力を感じ、大変心強く勇気づけられた。「やればできる」と確信した。大会を通じて得た経験は今後の市政運営、市民活動を含めたまちづくり全体の礎になると思っている。改めて、関わった方々に感謝を申し上げたい。

年末には、今後のまちづくりの中心となる西武鉄道の東村山駅周辺連続立体交差事業が事業認可を取得した。11月には府中街道も事業認可を取得した。市の大動脈、中心部のハード面での大改造が来年度以降に行われる。市制施行50周年に新たな東村山の歴史を拓く大事業が始まる。東京都の事業ではあるが、市も深く関わらなければならない事業だ。むしろ我々の事業という思いで関わらざるを得ないと思っている。50周年の節目の年に大きく動き出す、その前段階を今年得られたことは、これからの歴史を考えると非常に大きな成果だと思う。

12月定例会の最終日、12月19日には私が平成19年の市長選の時から公約の1つとして掲げていた常設型住民投票制度を含めた自治基本条例、「東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例」が制定された。紆余曲折があり最後まで気が抜けない状況だったが、理解を得られた。これからの市政を考えた時に、細かい部分では様々な意見があったが、小異を捨てて大同についていただき、一部修正を経て可決された。当市にとっても意義深いことであり、私自身も公約に掲げて足掛け7年目によく制定を見たことになる。私の政治家人生、市長としての人生にとっても一つの画期的な出来事だった。しかしこれは条例を作ることが目的ではない。条例を作り、これからの分権時代にいかに自治力を高めていくかだ。行政である職員の資質・能力を高めていくことは当然として、自治の主体である議会、そして市民の持つ自治力をうまく引き出し、三位一体をうまくかみ合わせてこそ、東村山をいいまちにする大きな力となると確信している。これからの本番で魂を入れることになる。この間、条例に書かれたことは少しずつ既に行ってきた。様々な局面で市民参加・市民協働をお願いしてきた。一人一人の職員が市民と向き合い、時に市民に寄り添い、市民と共に問題意識や目的・成果を分かち合って、共に歩む市政を作るための条例ができた。条例の趣旨を解して個々の職員がいかに力量を高めて向き合い・寄り添い・分かち合い・共に歩めるかが、これからの勝負所だ。職員に督励して、今年最後を飾るまちづくり基本条例の趣旨を繰り返し職場で徹底し、基本プロセスに埋め込んでもらいたい。

今年1年は紆余曲折があった。東村山市にとっては大いなる飛躍もあった年だった。国体に向けて久しぶりに全庁の一体感が生まれ、50周年に向けて「ひがっしー」誕生等で若手職員が活気づいた手ごたえを感じている。まだ険しい局面もあるが、来年もまずは経営会議メンバーで力を合わせて困難を乗り越えて、頑張っていきたい。引き続きご理解・ご協力をお願いしたい。

今年の年末年始の休暇は比較的長い。ご家族とゆっくり過ごして日頃の疲れを取り、年明けには元気に顔を合わせたい。改めて副市長、教育長、部長方の労苦に心から感謝を申し上げて、良い年を迎えることを祈念して、ご挨拶としたい。

2. 協議事項

(1) 事務の品質向上に伴う取り組みと成果について

前回の経営会議以降、3部から事務ミス取扱いについての修正が出た。簡単に説明していただきたい。

- ・「事務の品質向上（報告書）の徹底」の部分について、当部は所得や健康等、高度な情報を扱うため、そこを明確にするために文言の整理等を行った。
- ・様々なケースを挙げたマニュアルの整理を行った。部内に配布して今後の品質向上に活用したい。
- ・事務ミスの撲滅には職員の意識や職場の連携があるが、それを現実的にどのように担保するかの方法をまとめた。今も各業務のマニュアルはあるが、皆が確認する・更新する状況にはない。同じ人が長期間同じ業務を担う場合もあるため、その対応を考えた。

各課の業務マニュアルは人事異動の内示から1週間以内に見直し・確認・改正に努める。契約や会計の事務マニュアルは研修を受けた者が責任を持って、変更がある場合には変更する。ファイリングの色を統一して、誰でもすぐに目にとまる場所に置く。部内会議で意思統一を図る等の具体策を挙げた。

マニュアルの具体的な活用方針や取組みを各部に持ち帰って議論して整理するということが前回の話だった。そのためには一定のチェックシートが必要かもしれないとの話だったが、まだ整理できていない。材料は集めたので、説明する。具体的に運用できるチェックリストについて研究している。資料は民間が使用しているツールをネットからダウンロードしたものである。活かせるものを整理・アレンジして、26年度当初から運用できるように準備を進めている。マニュアルは更新が非常に重要である。年度変わり、人事異動、綱紀肅正強化月間等の機会を捉えて、担当職員が管理運用するのではなく、部内の職員全員が使命感を持って、アイデアや意見を実務に活かしながら共有できるようにしたい。

ファックスや研修の報告書にはフォーマットが整っているので改めて作る必要はないが、会議のチェックシートやクレーム対応に活用できると思われる。見やすく形骸化しないものに

したい。来年度当初から運用できるように考えている。

マニュアルの責任者を決めて更新するとか、色等は各部で共通して使える内容だと思う。次回以降の経営会議で、マニュアルをどのように活用・運用していくかを整理したい。年度内に一定の制度として作り上げて、26年度には運用を開始したいので、よろしく願います。

以上、決定とする。

3. 報告事項

(1) 簡素な給付措置について

平成25年に「好循環実現のための経済対策」が閣議決定した。消費税値上がりの見返りとして、福祉の臨時給付金を配付することになったものである。

福祉的な部門に着目して判断すべき。最も業務を負う所管が中心になるべき。従前の定額給付金や地域振興券の例。3つの意見がある。

具体的にどのような業務があるのかを整理する必要があると思う。厚労省から来ているから福祉的との要素はあるが、消費増税の見合いとしての業務と考え、厚労省＝福祉部門と単純には言えないと思う。市民部長、健康福祉部長、子ども家庭部長で具体的な業務内容を整理して、副市長に決定してもらい、それに従うということでもいいか。それを結論とする。

作業が遅れて、万一、東村山の市民にだけ給付金が行かないということにはならない。年内に決着ということで、このような形にしたい。

各部からの応援体制についても了解していただきたい。

(2) 東京都知事選挙に伴う市職員の選挙事務協力方について

24日に所管課長にはメールで依頼済みである。時間がないため事後承諾になる。1月7日までに提出と依頼している。

選挙については2月9日実施となった。広報は1月15日号市報に掲載する。期日前投票は北庁舎1階の第2会議室で1月26日～2月8日。サンパルネは調整中である。2月6～8日と考えている。会議室の予約が既に入ってしまったので、調整、協議している。

(3) 東村山駅周辺まちづくりについて

12月10日に連立と付属街路の事業認可が取得された。

測量はほぼ終了しているので、今後は用地公表説明会を地権者に行い、具体的に用地取得に動くことになる。

まちづくりニュースはホームページにもアップしている。承知おき願いたい。各部にも協力をお願いすることがあると思う。よろしく願います。

(4) 市議会3月定例会提出予定案件・所信表明事項について

市議会3月定例会提出予定案件・所信表明事項について確認した。(※定型句)

(5) 平成25年末にあたって

1 2月議会も含めて、この1年間で気づいた点があれば話していただきたい。

- ・24年から処分が続いている。様々な状況が考えられるが、業務に当たって地方公務員として自覚を持って業務に臨んでいただきたい。年始に酒を出されることもあるだろうが、車の場合は飲まないという徹底をお願いしたい。

- ・頻繁に制度改正されるので、職員が追いついていないのが現状だ。それを少しでも埋めていきたいため、制度改正のあった部内で検討チームを立ち上げて対応したが、制度を知らない職員が増えた。何に基づいているのか理解して仕事をしてほしい。忙しいことを理由にして業務効率を改善するのではなく、手抜きになっている部分も多々あると指摘した。忙しいからできないのではなく、課長のマネジメントの問題もあると話をした。そのために理事者の判断もいただき、経験者採用をさせていただいた。ベースとなるものを職員に植え付け、プロ集団になってほしいと思い、次年度も進めていきたい。

- ・最も大きなものは、27年度に向けて子ども子育て新制度がスタートする年であった。来年8～9月頃から新制度スタート後の保育の必要性や民間委託についての準備を進めていかなければならないが、厳しい状況だ。これからますますいろいろなことが出てくるだろう。市民と一体となって共に歩きながら、必要ならば情報公開もしながら進めなければならない。

今年前半には子宮頸がん予防接種関係でも副反応のある子どもが出てしまった。先天性風疹症候群にも該当者が出了。

- ・12月議会は非常に切れが良かったのが印象的だ。部長として細かいところまで目が届かないという事情も理解できるが、ある程度、自分の知識として自分の業務を押さえる必要があると感じた議会だった。これからますます議会運営が難しくなると感じている。それを感じながら自分を含めて頑張っていく必要があると改めて感じた。

- ・昨年12月28日と1月4日の経営会議は国の補正予算の議論からスタートした。その後にはサーベラス、権限移譲、垣根がなくなってきたと感じた。省庁の予算で下りてきて、予算書と同じような区分けがあって執行するというだけの話ではなく、どこが所管すればいいのか分からない問題がたくさん出てきた。議会の質問でもどこに振り分ければいいのか分からないものが増えていると実感している。こちらの振り分けに対して苦勞して答弁していただいたこと感謝を申し上げる。

最も大きな懸案だった自治基本条例がやっと日の目を見て本当に良かったと思っている。平成19年から厳しい時もあったが、何とかここまで来れた。感慨無量だ。

議会は通年議会を検討している。通年になった場合の問題点や課題について、何かあれば至急出してほしい。年明け早々には議会と調整しなければならない。

この1年無理難題を出してきた。ご協力感謝する。来年も引き続きよろしくお願ひしたい。

- ・議会基本条例が成立したので、4月1日から動き出す。3月定例会に出さなければならない委員会条例や会議規則、要綱等がある。作業チームと通年議会を考えるチームがある。議運のメンバーを中心に、20名で動いている。2月半ばまでは週に1回は会議を行っている。
- ・4月より1部になった。1部になったメリットで、各課間の情報共有や職意識のすり合わせが機能してきた。これからも連立や都計道等の大きな事業が控えている。1つに様々な課が関わり、一緒ではなく単課が長期的に考えなければ大きな齟齬になる。広く情報共有できるように拡大会議を開催したり、意識のすり合わせに努めたい。まだ不十分と感じているので、心がけていきたい。
- ・幅広いという印象だ。議会は自分の主張ができなかった。答弁しつつPRができるようにしたい。
- ・12月議会で感じたのは、部長職として全体の事務をどのように進めているか、内容を把握することが本当に必要だと感じた。具体的な事業がどのように行われてきたか、自分の目で体を通じて持っていないと議会对応は難しい。一問一答が非常にわかりやすくなってきた。担当ではない部長でもわかる。一度に多く説明されるとわからなくなる。一問一答になって市の事業について非常にわかりやすくなったと思う。
教育委員会では組織的な動きを市民やボランティア、関係団体の力をいただいてできたことは収穫だったと思っている。生涯学習計画も皆の協力で出来た。学校の児童生徒に大きな事故もなく良かったと思っている。組織の力も大切とつくづく感じた1年だった。
- ・国体の応援に感謝申し上げる。各部の部長はじめ職員が一所懸命に対応して、市民と一体となった国体、スポーツ祭東京2013ができた。バスケットの人とも話したが、東村山ならではのおもてなしもできたと思う。自治会さん等も含め全市あげての国体だった。議会関係ではまちづくり基本条例が可決した。一問一答になってから、何について答えているかの内容がよりわかるようになった。質問する議員もその良さを活用して、素晴らしいやりとりをする人と、まとめて言う人もいて、議員の質の差が出てきていると感じた。教育全般では、放射能が一段落したと思ったら体罰、食物アレルギー問題で3~4月には大きく問われた。権限移譲に絡む制度改革がかなり入ってきている。
- ・マニュアルを整備して改善してほしい。素人が増えたという感想については、個人の力が組織に組み合わさって、総合的に力を発揮するのがまだ若干弱いと感じる。各個人にはそれなりに優秀な人が多い。国体では実施本部で現場にいたが、本当に素晴らしかった。こちらにいる時と顔つきが違う。最も懸念された観客の入れ替えについても、案内や管理体制で混乱がなかった。全般で持っけていても埋もれていて、現場に行っけて発揮されたのだと思う。事務の段階になった時に企画・理解・振り返り・実施して計画に位置づけるという事務の流れに足りないところがある。仕事上で咀嚼しきれないと感じている。事務ミスの対応も各課でまとめて、新年度から全般的な事務能力の確保を期待する。

議会は、我々の方でデータや考え方を持って、自信を持って丁寧な議会対応や市民へのPRをお願いします。様々な課題が経営会議に持ちこまれた。力を出していきたい。

- ・国体では市役所職員は底力を見せたが、イベント的な場で発揮される力が日常的業務では発揮されていないというギャップは感じている。イベント的におもてなしをするのは、力を発揮できるし、楽しんで仕事もできる。しかし予算や実施計画の策定をされていて感じるのは、3年ほど先を常に見据えて逆算的に今年やらなければならないこと、来年やらなければならないことというように政策を組み立てていくのが係長・課長レベルで弱い。今までそのようなトレーニングを我々がしていなかったことに尽きるのかもしれないが。各課の課題も輻輳している。中長期的に政策目標、ビジョンを持っていなければ見過ごしてしまう。組織力を高めるには、部長はもちろん、課長がしっかりしなければどうしようもない。課長のマネジメント力と政策責任者としてしっかり作り上げれば部長も易々とはひっくり返せないし、市長もそれで行こう、という話になる。しかし「いかがいたしましょうか？」という話が多い。もう少し見通しを持って業務遂行する構想力が必要だと感じている。現場で楽しいイベントを盛り上げる能力は極めて高いと実証されたのだから、それをいかに中長期的視点を持って日常業務につなげるかだ。

ある議員は現場を丹念に歩いて、職員や市民の声を聞いて積み上げてくる。そういう議員には、我々はしっかり対峙していかなければならないのだが、我々のスタンスとしては変化球もしっかり打ち返せる力量を部長・課長が持つことが最大の強みになる。これから大きな課題として保育園の民営化がある。リサイクルセンターの次のプラント、連立事業に絡む都市計画街路等、政治的に大きな争点となる案件を抱えている。みんなで作るみんなの東村山だから、議論はみんなですていかなければならない。そのための議論に堪えるデータを積み上げ、政策構想力を持って歩むことに尽きるのだと思う。

至らない市長ではあるが、日々研鑽をして、その姿を後輩や部下に示し、部長が職員に示していくことが、若い人を育てることに繋がると思う。来年、力を合わせて頑張りたい。よろしくをお願いします。

(6) その他

〈平成25年度補正予算について〉

昨年12月28日と今年1月4日の経営会議で議題になったのは、国の緊急雇用の活用だった。今回も平成25年度補正予算が国で編成された。所管で活用できるものがあるか、調べていただきたい。

12月5日に「好循環実現のための経済対策」が閣議決定された。それを受けて12月12日に閣議決定された補正予算である。規模は約5兆5千億である。昨年は13兆2億だった。当市の補正予算繰越で緊急経済対策12億6千万という、非常に大きい補正だった。その規模と比べれば半分以下であるが、濃い内容となっている。

4つの柱があり、①競争力強化策 ②女性・若者・高齢者・障害者向け施策 ③復興、防災・

安全対策の加速——3兆1千200億と、非常に規模が大きい ④低所得者等への影響緩和、駆け込み需要と反動と減の緩和 である。新規国債は発行せず、税収が伸びることでの補正予算である。

基本的には既存事業の財源として充当できないか、実施計画に位置付けられた事業で、前倒しも含めて財源として活用できないかを検討してほしい。それ以外の事業は相談していただきたい。日数がタイトになると予想される。予め情報を提供するので、自分達の事業で拾えるものがあるかどうか、昨年同様に検討していただきたい。各部内に戻って検討をお願いする。

〈今後の予定〉

4時からマルチメディアホールで部次課長・管理職会議を行う。4時40～50分に市長が庁内放送を行う。仕事始めは1月6日である。8時40～50分に庁内放送、9時15～45分に臨時経営会議、10時～30分までマルチメディアホール部次課長・管理職会議を行う。

4. その他

〈タウンミーティング〉

タウンミーティングの各課の回答を1月16日までに記載をお願いする。

〈保育料の徴収〉

保育料の児童手当からの徴収は4月支給分から対応する。

〈年末保育〉

年末保育を29日、30日に第一保育園で実施する。29日は14名、30日は21名の申し込みがある。

〈ごみの臨時収集〉

年末年始の臨時収集を日曜日と月曜日まで行う。質問があった場合は資源循環部に問い合わせるように案内してほしい。

〈選挙会場〉

体育館で工事している。選挙で使えない場所については教室に移動することを考えている。影響は出ないと思う。

5. 閉会(副市長)